

送辞

冬の厳しい寒さがまだ残りつつも桜の開花が待ち遠しい季節になりました。三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方は、唐津西高生として過ごしてきた日々をどのように振り返っていらっしゃいますか。何度も上り下りした登校坂。分からない問題が増えていくたびに質問にいった職員室。短い休み時間ぎりぎりまで友達とおしゃべりをした日々。今、数えきれないほどたくさんの思い出が頭の中を駆け巡っているのではないのでしょうか。

この唐津西高校の校舎の、そして私たちの記憶の中に、数々の先輩方の面影があり、そしてそれは、どの瞬間を切り取っても尊敬する自慢の先輩方の姿でした。特に、全校生徒が一丸となって取り組んだ双松祭の盛り上がりは今でも鮮明に覚えています。応援、バック絵、パネルのリーダーの皆さんが、それぞれに任された仕事に全力で取り組む姿を見て、自然と「この先輩方についていきたい。」そう思いました。そして迎えた本番は、大きな盛り上がりを見せ、成功を納めました。中でも、先輩方の努力が最も鮮やかな形となった応援コンクールは、私たちに大きな感動を与えてくれました。

思い起こせば、先輩方は常に、私たちにとって「こうなりたい」という目標でした。様々な面で私たち後輩の手本となり、とても頼りになる、優しい先輩方ばかりでした。ともに過ごした二年間は、何ものにも代え難い思い出となり、全て忘れられません。これからは私たちが、先輩方のように切磋琢磨し、お互いを尊敬しながら、強い一体感で、新たな唐津西高校の未来を築く存在となることを、在校生を代表して、ここにお約束します。

今、私たちの社会には、新しい「当たり前」が多く生まれています。その中で生きていくには、新しい発想や工夫が必要とされるはずです。先輩方は、大きく変革する社会に対して何一つ物怖じされることはなく、西高で輝いていた姿そのままに、仲間と協力し、一つずつ問題を解決しながら、一步一步前へ進んでいかれることと思います。

先輩方はこれから、それぞれ新たな道に進んでいかれると思います。どうかそれぞれの場所で、自分の無限大の可能性を信じ歩み続けてください。

最後になりましたが、ご卒業されます先輩方のより一層のご活躍とご健康をお祈り申し上げます、送辞と致します。

令和4年3月1日 在校生代表 山崎 皓斗